



印刷時に有害な廃液が出ない  
「水なし印刷」で印刷しています。



## 会社概要

(2019.2.28現在)

会社名	株式会社イズミ
本社所在地	広島県広島市東区二葉の里三丁目3番1号
資本金	196億1,385万円
設立	1961年10月27日
従業員数	正社員 2,712人 パートタイマー 6,147人(1日8時間換算)
店舗数	112店舗(エクセル単独店舗含む)
店舗地域	広島県、岡山県、山口県、島根県、福岡県、佐賀県、 大分県、長崎県、熊本県、兵庫県、香川県、徳島県 他
事業内容	ショッピングセンター、ゼネラル・マーチャндаイジング・ ストア(GMS)、スーパーマーケット等の業態による衣料品、 住居関連品、食料品等の販売およびインポート事業
グループ会社	(株)ゆめカード(クレジット・金融事業) (株)イズミテクノ(店舗施設管理) イズミ・フード・サービス(株)(外食) 他

広がる夢を  
天高く、どこまでも。

# イズミグループ 社会・環境報告書 2019

ENVIRONMENTAL SUSTAINABILITY REPORT

you  
me

作成部署およびお問い合わせ先

株式会社イズミ 顧客サービス部  
〒732-8555 広島県広島市東区二葉の里三丁目3番1号  
TEL 082-264-3211(代) URL <https://www.izumi.co.jp/>

you  
me

# Contents

みなさまの夢に寄り添う イズミの店舗戦略  
**店を変えて  
 地域を変える。** ..... 2

**トップメッセージ**  
 株式会社イズミ 代表取締役社長 山西 泰明 ..... 5

**イズミの4つの夢**  
**お客さまに利便性と快適さを** ..... 7  
**地域に活気を生み経済効果を** ..... 11  
**テナント様と協力して一層の発展を** ..... 17  
**社員が意欲を発揮できる環境へ** ..... 19

**イズミ エコ・アクション2019**  
 店舗の設備・システムで「省エネ」を ..... 23  
 地域のみなさまと「循環型社会」を ..... 25

**持続的成長へCSR推進**  
 コンプライアンス規定を浸透 ..... 27  
 株主・投資家との対話を強化 ..... 28  
 コーポレートガバナンス体制を強化 ..... 29  
 コンプライアンス意識を啓発・向上 ..... 30



## 社会・環境報告書の作成にあたって

**●編集方針**  
 イズミでは、CSR(企業の社会的責任)に関わる取り組みを多くの方々にご理解いただくために、社会・環境報告書を作成しています。  
 報告項目の選定に当たっては、ステークホルダーのみなさまの関心事と、イズミが事業活動として重視している事項を考慮して取捨選択し、本書にまとめています。内容としては、CSR活動の中心である店舗・従業員の活動をメインに取り上げています。  
 記事の作成に当たっては、読みやすさ、理解しやすさに配慮し、写真やグラフ、図などを積極的に取り入れています。  
**【最新情報について】**イズミホームページにて、最新の取り組みや詳細な情報を紹介しています。併せてご覧ください。URL <https://www.izumi.co.jp/>

**●報告書の発行**  
 今回の発行  
 2019年5月(2018年3月1日~2019年2月28日の取り組み内容)  
 ※一部、2018年3月以前、2019年3月以降の取り組みについても報告を行っています。  
 次回の発行予定  
 2020年5月(2019年3月1日~2020年2月29日の取り組み内容)  
**●報告書の対象**  
 株式会社イズミの取り組みを基本として、グループ会社も一部含まれています。  
**●対象読者**  
 お客さま、店舗の近隣住民のみなさま、行政、お取引先様、株主のみなさま、学生、NPO、NGO、投資家のみなさま、従業員など

みなさまの夢に寄り添う イズミの店舗戦略

# 店を変えて 地域を変える。

お客さまの暮らしに役立つ、身近なお店をつくりたい。  
 誰もが笑顔になれる、豊かな時間をお届けしたい。  
 地域がつながり、元気になっていく場であり続けたい。

私たちは社会の変化を先取りし、「店舗」という概念を超えて  
 みなさまと共に「新たな街づくり」に取り組んでいきます。



# 店づくりで、街に「新たな価値」を

## 西友からの店舗継承

### 地域経済への貢献に努力

2018年2月1日にイズミは合同会社西友様と「ザ・モール周南」「ザ・モール姫路」の経営権譲渡契約を締結しました。「ゆめタウン」へのリニューアルにあたっては、地元行政や既存のテナント様との対話を重視し、お客さまニーズとイズミのノウハウとの融合を推進。地域経済活性化にも努め、地元特産品の取り扱いはもちろん、「ザ・モール」従業員のみなさんの継続雇用にも積極的に取り組みました。



「ゆめタウン下松」が核テナントとして入居

### 2018年10月13日 OPEN 「ゆめタウン下松」

山口県下松市で親しまれてきた「下松タウンセンター」の核テナント「ザ・モール周南」を継承。生鮮食品と惣菜を強化した食品売場、休憩用ソファ、フードコートなどを設置し、三世代の集いの場をめざしています。



広々とした平面駐車場



「ゆめタウン姫路」に新設したフードコート

### 2018年12月1日 OPEN 「ゆめタウン姫路」

フードコートや子どもの遊び場、授乳スペースなどを新設し、ママとお子さまにやさしい店づくりを推進。イズミ直営店とテナント様を回遊しながらお買物が楽しめる点も評価され、広域からご来店いただいています。

### ストア・オブ・ザ・イヤーを受賞

「ゆめタウン姫路」が「ゆめタウン廿日市」「LECT」に続き、ストア・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。新規出店以外で選出されたことが業界で話題に。「日本一の高質リージョナル総合スーパー」をめざすイズミの姿勢に、高い評価をいただきました。

## 毎日の食生活支える「ゆめmart」

食料品を中心に、毎日の暮らしに必要な品をそろえたスーパーです。店舗周辺のみならず身近な場所でも便利にお買物ができますよう、地域性に合わせた商品構成を実現。特に生鮮食品の充実にごこだわり、地場商品の取り扱いも推進中です。高齢社会が進む中で「暮らしに寄り添う」姿勢を大切にしています。

### 2018年9月20日 OPEN 「ゆめmart城野」

北九州市の中心市街地から約3km、JR城野駅そばに出店。ドラッグコーナーやイトインコーナーが好評をいただいています。



約80人の地元採用従業員が活躍中

### 2018年11月6日 OPEN 「ゆめmart久米」

岡山県下には20年ぶりの出店。国産肉やとれたて鮮魚などの生鮮食品の充実に加え、電球や電池などの生活必需品も取りそろえました。



オープン前に約500人の列ができました

## セブン&アイ・ホールディングスとの業務提携

### 電子マネーの相互利用開始

2018年4月5日に、イズミはセブン&アイ・ホールディングス様との業務提携に合意しました。互いの経営資源やノウハウを有効活用し、仕入れの統合などで事業効率化をめざします。10月25日からは、電子マネー「ゆめか」と「nanaco」の相互利用が始まり、お客さまにも「便利になった」と好評です。



業務提携を記者発表する 山西社長



「ゆめか」と「nanaco」のコラボカードが登場

### 2019年初夏 OPEN予定 「ゆめタウン福山」

2019年春に営業を受け継ぎ、リニューアルを実施中です。既存テナント様と新規テナント様、イズミの協業に努め、よりよい店づくりを進めます。



「ゆめタウン」として表いを新たにオープン

## 既存店を活性化

### ニーズに合わせて充実図る

消費者ニーズとの差を解消するため、イズミでは1店舗ごとに課題を検討し、地域特性に合わせたきめ細かい活性化を実施。三世代でご利用いただけるショップを導入したり、館内にソファ席やイトインコーナーを設置したりといった工夫により、お客さまに新鮮な喜びをお届けしています。



「ゆめタウン徳島」のベーカリーカフェ「アンティーク」

### 2018年4月20日 リニューアル 「ゆめタウン徳島」

2011年の開業以来、初となる大型活性化を実施。四国初のテナント様が11店舗入店され、広域から多くのお客さまが来店されました。



四国初登場の チーズタルト専門店「バイク」

### 2018年4月20日 リニューアル 「ゆめタウン行橋」

イトインコーナーやキッズスペース、ベビー用品専門店の導入で、さらにファミリーで利用しやすいお店になりました。



ベビー・キッズ用品専門店 「アカチャンホンポ」

### 2018年11月20日 OPEN 「ゆめmart木太」

「ゆめmart」業態で四国初出店。四国の大動脈国道11号線に面し、周囲に高松市有数の住宅密集地もある好立地です。



鮮度のよい青果がずらり

## イズミグループ子会社も食品スーパーを展開

(株)ゆめmart熊本  
[旧社名:(株)ゆめmart]  
熊本地区に「ゆめmart」24店舗を展開。

(株)ゆめmart北九州  
[旧社名:(株)スーパー大栄]  
福岡・大分・山口地区に「ゆめmart」32店舗を展開。

(株)ユアーズ  
広島地区に「アバンセ」「ユアーズ」25店舗を展開。

(株)デイリーmart  
徳島地区に「デイリーmart」7店舗を展開。



ゆめmart北九州が運営する「ゆめmart永大丸」



JR広島駅ビルにある「しま市場 アバンセ」

# 変化の先にある大きな「夢」は 「日本一の高質リージョナル総合スーパー」



激動の平成が終わり、新たな時代「令和」を迎えました。変化の波の中で、イズミグループ従業員は「お客さまのために尽くす」という創業の精神を守っています。そして、変わることも恐れてはいません。発想を柔軟に転換し、商業施設に今、求められていることに全力で対応。社会の変化に振り回されるのではなく、私たちの店から変化を起こしていきたいと考えています。

2018年には西友様から「ザ・モール」2店舗を継承し、「ゆめタウン下松」、「ゆめタウン姫路」としてリニューアルしました。またセブン&アイホールディングス様との業務提携により、「イーヨーカドー福山店」を2019年初夏に「ゆめタウン福山」として活性化する予定です。地域で長年愛されてきた店舗の付加価値を高めるため、買物スタイルの変化を見極め、三世代で楽しめる空間づくりを追求しています。

食品スーパー「ゆめmart」業態では、2018年に3店舗を新規出店。地域のお客さまの“冷蔵庫がわり”に重宝される店をめざして、品ぞろえや鮮度、フレンドリーな接客にこだわりました。2019年も複数の出店を計画し、理想の食品スーパーの実現に取り組んでいます。

私どもの出店エリアである広島県、岡山県は、2018年7月の豪雨で大きな被害を受けました。小売業の使命としてライフラインを維持するため、被災店舗の迅速な営業再開に努め、復興支援金の寄贈をはじめとした継続的なサポートで、お客さまや地域のみなさま、社員、お取引先様を多方面からご支援してまいりました。こうした社会貢献はもちろん、店づくりを含めた弊社のすべての活動において土台となるのがイズミの「4つの夢」です。「お客さまに、より便利で快適な暮らしをお届けしたい」「地域に雇用を創出し、活気を生み出したい」「テナント様やお取引

先様に、さらなる発展をしていただきたい」「社員に人間的成長とやりがい」という願いの実現に向けて取り組んでいます。また、株主のみなさまへの還元や、地球環境の保全など、イズミにつながる全てのステークホルダーのみなさまの「夢」に貢献できるよう、最大限の努力を続けてまいります。

私たちは中期経営計画で「日本一の高質リージョナル総合スーパー」をめざすと社内外に宣言しています。数値目標に関しては2019年4月に計画を見直し、新規出店による拡大戦略から収益性重視の成長戦略へと舵を切りました。社会的な環境の変化に対応し、地域や市場に合わせた柔軟な事業推進で、“質”の向上を進めるためです。社員がやり甲斐を感じながら業務に励める体制で、コンプライアンス経営の確立にも努め、“日本一”の称号にふさわしい信頼の絆を築いていきます。変化の先にある未来を見据え、大きな夢に挑み続ける私どもに、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社イズミ  
代表取締役社長 山西 泰明



## イズミ経営理念

### 中期経営計画の方向性を見直し

恒常的な人材不足や建築コスト上昇などの社会的な環境変化に対応するため、より収益性を重視した成長戦略へと方向性を見直しました。

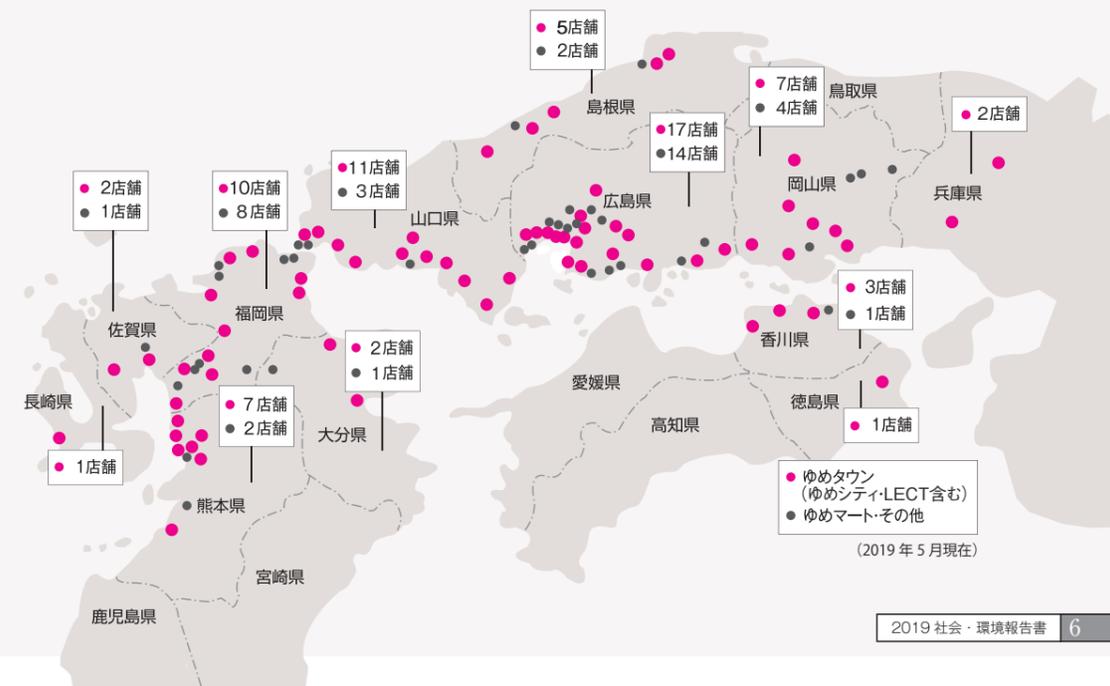
#### 数値目標

2020年度	営業収益 8,200億円
	営業利益率 5.4%
2022年度	営業収益 9,000億円

#### 5つの新たなテーマ

- 1 成長戦略
- 2 既存店活性化計画
- 3 競争力の強化
- 4 人材育成の強化
- 5 デジタル投資の拡大

(2019年4月9日発表)



# お客さまに 利便性と快適さを

暮らしを支える商品とサービスを追求します。



## 多彩な時間を提案する「LECT」

2017年4月にオープンした「LECT」は、「知」の広島T-SITE、「食」のイズミ、「住」のカインズがタッグを組んだ新業態。単身者やご夫婦、親子二世・三世など幅広い世代に向けて、ショッピングに加え、食やカルチャーなどで過ごす「時間」をご提案しています。絵本の読み聞かせやハンドメイド教室、ベビーマッサージ教室、朝のヨガ、夕方のコンサートなど、毎日さまざまなジャンルのイベントを開催。気軽に文化に触れ、興味を広げる「出会いの場」です。これからも、新たなライフスタイルが発見できる場所をめざします。

LECTの年間イベント回数

2,000  
イベント



## バリアフリー環境をさらに整備

2000年以降の開業店舗は、全てバリアフリー新法対応施設です。広島県内の店舗では、身体に障がいのある方やケガをされた方のために「思いやり駐車場」を設置。お身体のご不自由なお客さまのお買物をお手伝いする「エスコート係」も配置し、ソフト面の取り組みも推進中です。「ゆめmart阿賀」ではAEDの使用説明会を実施するなど、従業員への教育も進めています。



万が一に備え、AEDの使い方を実習



お客さまのお買物をサポート



## 食品の安全・安心を 組織全体で守る

食の安全・安心を守るのは、食品販売企業の責務です。イズミでは、外部の準公的機関（一般財団法人日本食品検査）の指導を受けた食品品質チェッカーを全店に配属し、毎日午前11時と午後3時に品質鮮度と産地表示を確認しています。また、管理職向けの表示勉強会を定期的で開催。組織全体で食品安全の責務と向き合っています。

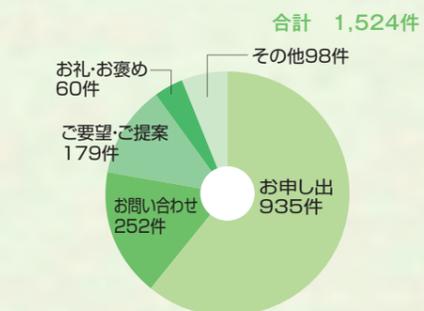


真剣に学ぶ品質チェッカー

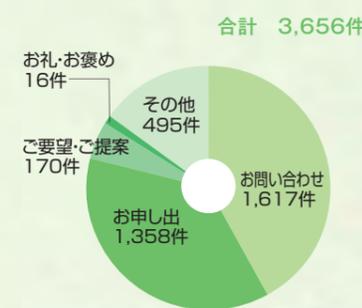
## 「お客さまの声」を活かし業務改善

店頭の「お客さまの声」用紙や、本社「お客さま相談室」へのお電話でいただくお申し出を真摯に受け止め、業務改善やサービス充実に努めています。イズミ本社の「お客さまの声をお聴きするプロジェクト」メンバーが、ご意見を集約。スピーディーな対応をしています。

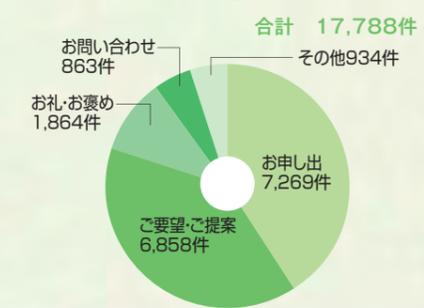
### ■2018年度ホームページ年間実績



### ■2018年度フリーダイヤル年間実績



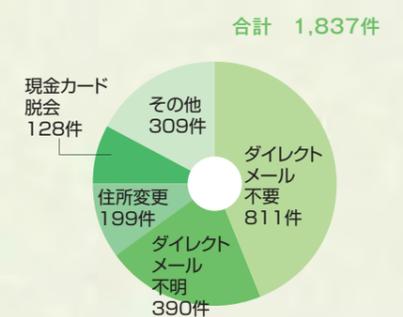
### ■2018年度店舗での「お客さまの声」年間実績



## 個人情報の保護に 万全を尽くす

会員カードのご記入やギフトの発送、商品予約などで、お客さまのご住所やお名前、電話番号などの個人情報をお預かりすることが多くあります。個人情報保護の観点からプライバシーポリシーを制定。全社員がその重要性を認識し、ルールを順守した管理を実施しています。

### ■2018年度個人情報専用ダイヤル年間実績





# お客さまに利便性と快適さを

## 消費者とメーカー様を結ぶ初のイベントが大盛況

2018年10月11日に広島県立産業会館で「美・食・住 youme発見2018」を初開催しました。200社以上のメーカー様がブースを出店し、試食や試飲、サンプル配布などを実施。お客さまには新商品を試していただき、メーカー様には消費者の生の声をお届けする「出会いの場」となりました。



試食も開催



会場は終日大盛況でした



料理提案や試食でにぎわいました

## 生徒が作った野菜・陶器などの即売会

「ゆめタウン益田」で2019年2月16日、毎年恒例の「ますようDEかっちゃん祭」が開催されました。益田養護学校高等部のみなさんが、作業学習で心を込めて作った野菜やお菓子、陶器、木工品などを販売。生徒のみなさんは接客も担い、日頃の学習の成果を披露しました。会場を訪れた大勢のお客さまに、お気に入りの品をお買い上げいただきました。



接客にも生徒のみなさんが活躍

## 大人も子どもも快適な店づくり

給湯器などを設置した「赤ちゃんの部屋」をはじめ、明るいデザインのキッズ用トイレや無料の遊び場、お子さま用カートなど、さまざまな設備を整備し、親子で快適に過ごしていただける空間をめざしています。「ゆめタウン廿日市」では、特定非営利活動法人キッズNPOによる読み聞かせを定期的で開催。特にご家族連れにご好評をいただいています。



「ゆめタウン廿日市」での読み聞かせイベント



「ゆめタウン姫路」の遊び場



## タブレット付きカート「ゆめピ!」 Powered by ショピモ導入店舗を拡大

タブレット付きショッピングカート「ゆめピ!」の導入を進めています。画面には、売場マップや旬の食材を使ったレシピ、さらに「ゆめピ!クーポン」が付与される商品も表示。「ゆめカード」をお持ちの方ならどなたでも無料でご利用ができ、お買物を楽しんでいただけます。



「ゆめピ!」の愛称で親しまれるカート



## 田植えや稲刈り親子で楽しく体験

JA全農ひろしま様のご協力のもと「広島県豊栄産こしひかり産地交流会」を毎年開催しています。東広島市豊栄町の田んぼでは、初夏に田植え、秋には稲刈りを実施。農業や食について、親子で楽しく学んでいただいています。「イモ掘り体験イベント」でも、収穫の喜びを味わっていただけます。



2018年5月6日、親子で田植えに挑戦

## 「ありがとう川柳」を募集

創業57周年の記念企画として「ゆめタウンありがとう川柳」を実施しました。お客さまから身近な人やゆめタウンへのありがとう川柳を募集。家族や友人、街、思い出の品、店舗などに向けた感謝の気持ちが込められた力作が多数寄せられ、一部を2018年11月3日の新聞各紙に掲載しました。



創業記念日の11月3日に新聞各紙に掲載しました

## 340品目を値下げして家計応援

2018年5月15日から、ゆめタウン66店舗、ゆめマート31店舗の合計97店舗で、調味料や飲料、パン、菓子、冷凍食品、生鮮品など、暮らしに欠かせない食料品を最大340品目値下げしました。従来価格から1~2割程度を値下げすることで、お客さまの家計をサポートしています。



取り組みを告知するチラシ

## 就労促進への貢献を評価されました

2018年12月8日、「特別支援学校就職サポート隊ひろしま」推進企業として表彰されました。特別支援学校の生徒さんたちの就労促進への貢献を評価いただいたものです。今回の評価を励みに、今後も職業見学・実習の受け入れなどに積極的に取り組んでいきます。



人事部長の沼本真輔(左から2番目)が出席

## 小学生が朝食づくりイベントに協賛

広島県の「こども未来づくり・ひろしま応援隊」が主催する「つくってみよう! 自分の朝ごはん」の表彰式が2018年10月28日に行われました。この企画は小学生が夏休みに5日間、自分で朝ごはんをつくるというものです。イズミも協賛企業として参加し、朝食の大切さを伝える食育と、親子のコミュニケーションを応援しています。



表彰された小学生のみなさん

## 多方面から便利で快適な店へ

便利で快適な店づくりを推進し、電子マネー「ゆめか」対応の飲料自動販売機の設置、お買物カートの貸し出しサービスなどを行っています。広島市内の4店舗では宅配ロッカーを設置。「買物のついでに荷物を持って帰られる」と好評です。



電子マネー「ゆめか」対応自販機



荷物が受け取れる宅配ロッカー

# 地域に活気を生み 経済効果を

にぎわいのある街づくりに貢献していきます。



## 「イズミメイプルレッズ」奮闘する選手をサポート

日本リーグ 2018-19 戦績

女子ハンドボールチーム「広島メイプルレッズ」は2019年4月から実業団チーム「イズミメイプルレッズ」に生まれ変わりました。日本ハンドボールリーグで8回優勝した強豪チームには、日本代表に選出された選手も在籍し、さらなる活躍が期待されています。イズミグループは全面的にチームをサポート。グループ企業で働く選手が仕事との両立に奮闘する姿は、従業員の模範です。また、ハンドボールが盛んな山口県下松市では「ゆめタウン下松」オープンを機に、日本ハンドボールリーグの公式試合を開催。地元のみなさんと一緒に、イズミグループ社員が声援を送りました。



## 広島東洋カープセ・リーグ3連覇を祝う

イズミは広島東洋カープのオフィシャルスポンサーとして、2009年からスコアボード横に「youme」のロゴを掲げています。ゆめタウンスポンサーードゲームも8年間継続して開催。毎年、満員の観客のみなさんと盛り上がり。2018年にはセントラルリーグ3連覇をお客さまと一緒に祝い、優勝セールでも喜びを分かち合いました。



抽選で当選されたお客さまがCCダンスを披露

優勝の歓喜に沸き立つ「ゆめタウン廿日市」

## 福岡でホークススポンサーードゲーム

イズミは福岡を盛り上げるために福岡ソフトバンクホークスを応援しています。2018年5月24日には、福岡ヤフオク!ドームでスポンサーードゲームを開催。強豪チーム・埼玉西武ライオンズとの好カードに、スタジアムは満員になりました。抽選で選ばれたお子さまが始球式や花束贈呈などに登場。熱戦に花を添えました。



スタジアムを「youme」のロゴが彩りました

## サンフレッチェ広島をサポート

イズミはユニフォームスポンサーとして、サッカーJ1のサンフレッチェ広島を支援しています。2018年5月20日には、エディオンスタジアム広島で第3回目のスポンサーードゲームを開催。セレッソ大阪との対戦を、多数のお客さまと共に応援しました。抽選企画として選手との記念撮影の場も設け、ご好評をいただいています。



選手との記念撮影を行いました

## 泉美術館で企画展「カープ物語」

1997年にオープンした泉美術館は、洋画、日本画、彫刻などのアートを気軽に楽しめる場です。2018年7月13日～9月30日には、広島東洋カープの歴史を振り返る企画展「カープ物語」を開催。9月17日には来場者が1万人を突破し、記念セレモニーで1万人目のお客さまにカープグッズなどを贈呈しました。



来場1万人目のお客さまと山西社長(右)が記念撮影

## 「スマイルくまもと」応募写真展を開催

ゆめタウン「くまもと応援」プロジェクトとして、2018年春に「スマイルくまもとフォトキャンペーン」を実施しました。地域のみなさまから寄せられたほほえましい笑顔の写真を、4月12日～30日に「ゆめタウン光の森」にパネル展示。「平成28年熊本地震」で深刻な被害を受けた地域への継続的な復興支援の一つとして、店頭から元気を発信しました。



熊本のみなさまの明るい笑顔を表示



# 地域に活気を生み経済効果を

## 各地の特産品 出店エリアで広く紹介

イズミグループでは、出店エリアに密着した品ぞろえを推進しています。例えば産直野菜コーナーでは、生産者の顔写真を売場に飾るなどして、地産地消に尽力。広島や熊本など、地域の特産品を他の地域でPRする「味じまん」の企画も人気です。地元で愛され、育てられた名品を、出店エリア内で広くご紹介しています。



広島ならではの味を他県でも紹介

## 期日前投票所を店内に 投票率アップに貢献

「ゆめタウン廿日市」では、投票率の向上に貢献するため、選挙時に期日前投票所を設置しています。2019年3～4月には、広島県議会議員一般選挙に際して週末を含む8日間、午前10時から午後8時まで投票を受け付け。「お買物帰りに投票を済ませよう」「ハガキをお持ちでなくても投票できます」といった呼び掛けを行いました。



案内板を店内各地に設置

## お買物のついでに 公共料金のお支払い

各地の店舗サービスカウンターで、電気やガス、電話などの料金、国民年金保険料などのお支払いを受け付けています。JAFやNHKなどの料金や、各種通信販売の代金にも対応。営業時間中であれば夜間・休日にも気軽に手続きでき、「お買物のついでに支払えて便利」「金融機関にわざわざ行かなくて済む」と好評です。



サービスカウンターでご案内

## 劇団四季が感動を届ける「こころの劇場」に協賛

「こころの劇場」は、劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターの社会貢献活動です。イズミは子どもたちに演劇の感動を届ける取り組みに共感。広島県、山口県、香川県、福岡県、熊本県の公演に協賛を行いました。2018年の演目は「魔法をすてたマジヨリン」。魔女の小学生・マジヨリンが、人間との交流で思いやりを学ぶ物語に、多数の小学校6年生が魅了されました。



一流のキャストによる舞台。撮影：荒井健



マジヨリンの成長物語が感動を呼びました  
撮影：荒井健

## 「ゆめタウン徳島」で 人命救助の感謝状贈呈式

「ゆめタウン徳島」で2018年12月16日に、2階から1階へ2歳の女の子がカートごと転落する事故が発生。居合わせた地元の高校生、竹瀬里子さんと久保芽依さんが女兒を受け止め、大けがを防ぐことができました。冷静に幼い命を守った行動を称え、お二人に12月19日と23日に人命救助の感謝状を贈呈しました。



支配人の勝本忍(左)から感謝状を贈呈

ESG challenge



## 健康ポイントで生活習慣病予防

2019年3月15日から、広島市と廿日市市の「ゆめタウン」「LECT」で、健康に特化したポイント制度「ウェルネス貯金」を開始しました。三井物産様と日本IBM様によるシステムで、健康に配慮した対象商品の購入でポイントを付与。調剤薬局やスポーツジムなどでの支払いにポイントを活用することで、生活習慣病予防につなげます。



ヘルシーな商品購入でポイント付与

## 山西社長が広島大学の 経営協議会委員に

2017年4月19日にイズミと広島大学は包括的連携協力に関する協定を締結しました。産学連携を実践し広く社会に貢献するため、購買状況などのビッグデータ共同解析や、インターンシップの受け入れ推進などを実施中です。同大学の経営協議会委員に山西社長が任命され、よりよい大学づくりへの提言も行っています。



広島大学の越智光夫学長(左)とイズミの山西社長



## 行政との協定で防災や活性化に貢献

地域密着の店舗運営を行うイズミでは、出店エリアの県や市町などとの協体制度を重視しています。産業振興と市民サービスの向上を目的とした地域活性化包括連携協定は、6行政と締結。山口県とは、県産品の販売促進や観光振興、高齢者支援などさまざまな面での連携を約束しています。

地震や豪雨災害など、万が一の災害に備えた協定も、各地の県や市町と締結。「平成28年熊本地震」に際しては熊本県や熊本市などとの協定が機能し、要請を受けて速やかに水や食料などの提供ができました。2018年には香川県三豊市、岡山県赤磐市、山口県下松市と新たに協定を結んでいます。



山口県の村岡副知事(右)とイズミの山西社長



香川県三豊市の山下昭市長(右)とゆめタウン三豊 店長の石本雅一

### 行政との協定一覧

包括協定	
県名	締結日
広島県	2011年9月6日
熊本県	2011年12月20日
廿日市市(広島県)	2015年6月6日
山口県	2016年9月1日
周南市(山口県)	2016年9月30日
広島大学(広島県)	2017年4月19日
宗像市(福岡県)	2017年10月26日

災害時における物資協定	
県・市・町名	締結日
香川県	2005年11月14日
福岡県	2006年3月28日
広島県	2006年10月5日
佐賀県	2006年11月27日
熊本県	2007年1月10日
山口県	2007年1月18日
島根県	2007年3月20日
長崎県	2007年9月21日
菊陽町(熊本県)	2007年2月1日
合志市(熊本県)	2007年6月1日
高松市(香川県)	2007年11月21日
防府市(山口県)	2008年5月22日
瀬戸内市(岡山県)	2008年6月1日
丸亀市(香川県)	2008年11月17日
宗像市(福岡県)	2009年4月1日
大牟田市(福岡県)	2009年9月1日
熊本市(熊本県)	2010年5月24日
大川市(福岡県)	2011年7月21日
藍住町(徳島県)	2011年11月21日

避難施設の協定	
市・町名	締結日
中津市(大分県)	2011年8月25日
藍住町(徳島県)	2011年11月21日
呉市(広島県)	2012年2月20日
別府市(大分県)	2012年4月27日
大竹市(広島県)	2012年11月27日
福山市(広島県)	2013年7月12日
廿日市市(広島県)	2015年6月6日
広島市(広島県)LECT	2017年6月7日
下松市(山口県)	2018年10月5日

## 「ゆめマート柳川」が 地域貢献で表彰されました

2019年1月24日、柳川警察署から「ゆめマート柳川」が表彰され、感謝状をいただきました。同店では日頃から、振り込め詐欺などの防犯情報をチラシに掲載し、店舗駐車場イベントも開催。チラシ配布といった地域活動にも協力しています。日常的な情報発信への貢献を評価していただきました。



南島彰夫署長(左)とゆめマート柳川 店長の小松原浩之



# 地域に活気を生み経済効果を



## 「平成30年7月豪雨」復興支援に尽力

「平成30年7月豪雨」は、西日本各地に深刻な被害をもたらしました。7月7日朝には10店舗が浸水により営業不能に。「地域のライフラインを守ることが小売業の使命」と考え、迅速な対応で同日午後には7店舗が営業を再開しました。陸の孤島となった広島県呉市には、船をチャーターし海路で商品を輸送。断水が続く中、飲料や惣菜、パンなどがお客さまに喜ばれました。

1日も早い復旧に向けて店頭での募金を実施し、お客さまから寄せられた15,234,918円を各地の日本赤十字社に寄託しました。またイズミおよび創業家から広島県・岡山県に総額9億円の復興支援金を寄贈。今後も息の長い支援を続けるとともに、今回の経験を活かして事業継続計画(BCP)を改正するなど防災対策を進めています。



「ゆめタウン平島」周辺は広範囲の浸水に



イズミ本社での対策本部会議



「ゆめタウン呉」では飲料の供給が喜ばれました



広島県庁で湯崎英彦知事(右)に寄贈



## 生産者限定ポテトチップス発売

カルビー株式会社様の協力で、イズミグループ限定の「生産者限定ポテトチップス」を2018年7月31日に発売しました。原料は、広島県三原市久井町産の新ジャガを100%使用。「平成30年7月豪雨」により浸水や断水などの被害を受けた生産者さんも多かったことから、同商品の売上の一部を三原市に寄贈しました。



イズミグループの154店舗で販売

## 「2018 ひろしまフラワーフェスティバル」に参加

広島を代表するお祭り「2018ひろしまフラワーフェスティバル」の「きんさいYOSAKOI」パレードに、イズミグループ新入社員が参加しました。約1ヵ月、九州の店舗に配属されたメンバーも定期的に広島に集まって猛特訓。当日は笑顔と元気の高さが高く評価され「元気いっぱいエネルギー賞」を受賞しました。



「ゆめタウン」カラーのはっぴを着てアビール

## 「第51回八代くま川祭り」に参加

2018年8月4日に熊本県八代市で開催された「八代くま川祭り」。そのメインイベントである「総踊り」に、ゆめタウン八代チームが参加しました。イズミグループ社員や専門店の従業員と一緒に練習を重ね、80人で息の合った踊りを披露。地域のみなさまと一緒に、祭りを盛り上げました。



80人のメンバーが集結しました

## 41人が息を合わせて「平家踊総踊り大会」

2018年8月26日に山口県下関市で開催された「第41回馬関まつり」。そのフィナーレを飾る「平家踊総踊り大会」に「(株)イズミYMダンサーズ」が参加しました。「ゆめタウン下関」誕生5周年を記念したもので、41人が躍動。ユークン・メーちゃんも一緒に踊り、沿道から多くの歓声が上がりました。



新入社員を中心とした若さあふれるメンバー

## 小売業のやり甲斐をお子さまたちにレクチャー

2018年6月12日、五日市小学校(広島市)の6年生に向けて、「ゆめタウン五日市」店長の鼓克夫が小売業の仕事について話しました。「ものを売ることの基本は、お客さまに喜んでもらうこと」「地域を知ることが大事」など、お子さまたちのキャリア形成の参考になればと思います。話を聴いて話しました。



140人の生徒さんの前で講演

## 「LECT」で盲導犬育成募金活動

イズミグループの店舗では、よりよい地域づくりに向けた募金活動に協力しています。「LECT」では、2018年4月28日・29日に盲導犬育成募金活動が行われました。心優しく賢い盲導犬とのふれあいコーナーも設置。親子で来店する方が多かったことから、お子さまたちに盲導犬を身近に感じてもらえる機会となりました。



親子で募金にご協力いただきました

## 「ゆめタウン山口」円卓などを寄贈

「ゆめタウン山口」は、2018年3月14日に店内で使用していた円卓やいす、長いすを山口市に寄贈しました。市内の学校のコミュニティルームや体育館のエントランスなどに設置され、学校と地域の交流を深めるために活用していただく予定です。



ゆめタウン山口支配人の井上宏春(左)が自録を贈呈



木製の円卓といす(3セット)と長いす(30台)を寄贈

## 広島・福岡の大学生とお弁当を共同開発

2018年10月5日から、大学生と共同開発した2つのお弁当を販売しました。広島国際大学医療栄養学部とコラボした「カラダ想い御膳」は、2017年に続く第2弾。福岡女子大学の管理栄養士をめざす学生さんの協力で、九州各県の名物を集めた「まるっと九州弁当」も登場。いずれも塩分控えめの弁当で、お客さまに好評でした。



見た目も楽しい「カラダ想い御膳」



「まるっと九州弁当」は35店舗で発売

## 管理栄養士が監修健康的なお弁当販売

2018年9月1日から、全国国立病院管理栄養士協議会の管理栄養士が監修した「からだデリ御膳」を販売しました。1食600kcal程度で塩分2.5g未満、野菜を150~250g使用したお弁当は、栄養バランス抜群。見た目と味にもこだわり、鮭塩焼きや厚焼き卵、大根生酢など彩り豊かな料理が盛り込まれています。



野菜たっぷりの「からだデリ御膳」

地域

# テナント様と協力して 一層の発展を

想いを一つに、共に成長していきます。



## イズミ専門店オーナー会で知見交わす

2018年11月29日、東京都の「八芳園」で第2回目のイズミ専門店オーナー会を開催。31社もの専門店オーナーのみなさまにご参加いただきました。イズミの山西社長は「変化の激しい時代だからこそ、思いを共有して一緒に未来へ歩いていきたい」とあいさつ。担当役員からはテナント従業員さまの働く環境整備や、採用活動支援、デジタルサービスの充実などを説明しました。懇親会は歓談の宴となり、参加者同士で知見を交わし合う場に。今後もイズミでは、専門店のみなさまとの信頼関係を大切にしていきます。

参加した専門店オーナー様

# 31社



## 共存共栄をめざす イズミ会総会

お取引先様とイズミの絆を深め、共存共栄をめざす会が1975年に発足した「イズミ会」です。2018年5月現在で356社が加盟しています。2018年5月11日には総会を行い、イズミから経営方針や出店情報などを報告。互いの交流を深めると共に、よりよい商品やサービスの提供に努め、お客さま満足度をさらに高めていこうと誓い合いました。



広島市内で開催されたイズミ会総会

## G you me 勉強会などを通じて 対等な関係を

イズミでは、お取引先様との対等な立場でのおつきあいを重視しています。担当者向けの「公正取引勉強会」は年に2回開催。関連法規である独占禁止法や下請法について学び、法令順守に努力しています。また商談やお取引など気になることについてご意見をいただけるよう、用紙と投書箱をイズミ本社に設置しました。



イズミ本社に設置した投書箱



「公正取引勉強会」を開催

## ロールプレイング全社大会を開催

テナント従業員さまを対象にしたロールプレイングの全社大会「第5回ゆめ1グランプリ」が2018年10月12日に実施されました。予選を勝ち抜いたみなさんがイズミ本社に集合。日々の業務の中で磨いた技術を発揮して、笑顔の接客を披露する白熱の大会に。業種によって異なる接客スタイルを学ぶ機会になると、参加者のみなさんに好評です。



「ゆめ1グランプリ」参加者のみなさん

## テナント従業員さま向け研修会を開催

イズミの各店舗では、テナント従業員のみなさま向けに研修会を設けています。入社したばかりの方向け「入社時研修」、売上アップのための「マネジメント研修」など、階層別の学びの場を開設。また、「テナント店長会」では業績やイベントなどの予定を確認し、全館一体となった店づくりに取り組んでいます。



「マネジメント研修」の様子

## 店頭でラジオ局とチャリティー

「チャリティー・ミュージックソン」は、視覚障がい者のみなさまを支援する恒例行事です。2018年12月24・25日には、中国放送(RCC)と九州朝日放送(KBC)、西日本放送(RNC)とタイアップし、広島県、福岡県、香川県の「ゆめタウン」でゲストを迎えて公開録音や募金活動を行いました。集まった募金は、音が出る信号機の設置などに活用されます。



公開録音に多くのお客さまが集まりました

## 「LECT」がディベロッパー大賞 新人賞に

2018年5月16日に、織研新聞社ディベロッパー大賞 新人賞を、「LECT」が受賞しました。この賞は、全国の有力テナント様による投票で贈られる、名誉ある賞です。時間消費型の店づくりを強化すると同時に、今後もイベントなどによる集客強化や、採用活動支援などに取り組みます。



贈呈式に出席した開発本部長の黒本寛

# 社員が意欲を 発揮できる環境へ

多様な人材が輝ける組織をつくりまします。



## 女性管理職を増やす 「ゆめCanプロジェクト」

女性管理職比率を2020年までに20%以上にするという目標を掲げ、イズミでは2014年に「ゆめCanプロジェクト」(女性活躍推進プロジェクト)を立ち上げました。プロジェクトメンバーは、課題を洗い出して会社に提言。例えば、育児休業後に安心して復帰できるよう、産休前・復帰前に上司と面談する「両立支援プログラム」が導入されました。また現在は、「管理職は休みが取りにくい」という理由で登用を辞退する女性が多いため、男女問わず管理職が休日を100%消化できるよう、働き方改革にも挑戦しています。

### イズミの女性管理職比率目標

2020年までに

# 20%以上



## 子育てや介護との両立を応援

1995年から「ポジティブアクション」を推進し、育児休業は子どもが3歳まで、小学校3年生までは育児短縮勤務ができるといった制度は行政からも各種表彰を受けています。看護・介護休業制度なども年々拡充し、2018年には保育施設利用費の補助が拡大しました。男性社員にも両立支援制度の周知を図るため、「パパママ応援BOOK」を作成し配布。職場には「子育てや介護に頑張る仲間をサポートしよう」という風土も根付き、制度の充実はもちろん、ハートの面でも両立を支援しています。



両立支援制度をまとめた「パパママ応援BOOK」

### イズミの育児休業制度



### 2018年導入の新制度

#### ■保育施設利用費補助

日曜・祝日や年末年始の一時保育費や病児保育費の半額を補助します。

#### ■女性のための相談窓口「Canトーク」

キャリアや人間関係など、メール・電話での悩み相談を開始しました。



## 「キャリアプラン」と「ライセンス制度」

イズミの人事制度の特長は、一人ひとりが目標に応じて自分でキャリアプランを設定できる点です。定期的な上司との面接で、目標設定を支援しています。また、性別に関係なく、高い能力と意欲を持つ人材を役職に登用するため「役職者登用基準の明確化(ライセンス制度)」も実施。主任や店長、バイヤーなどをめざす従業員は、研修とテストで能力を磨き、ライセンスを取得します。パートナー社員も主任に登用される仕組みが定着。女性管理職の登用を積極的に進めています。こうした取り組みが評価され、イズミは2017年に女性活躍推進優秀企業認定「えるぼし」の最高位「3段階目」を取得しました。



「えるぼし」認定証を授与されました

## 経験を活かして働く 再雇用制度

イズミの「定年再雇用制度」は、「高齢者雇用安定法」に沿って導入されたものです。本人が希望する場合、満60歳に達した正社員・パートナー社員は、定年後も65歳まで再雇用されます。パートナー社員の時給据え置き制度や、評価に応じた昇給制度などの仕組みを整備。多くのベテラン社員が長年の経験を活かして前向きに働いています。

1 本人が希望すれば、誰でも安心して65歳まで勤務することができます。

2 定年前までのみなさんの頑張りを活かすため、パートナー社員の時給は据え置きます。

3 定年後も評価に応じた昇給を行うので、意欲が高く保たれます!(正社員・パートナー社員共通)



# 社員が意欲を発揮できる環境へ



## 転居なしの正社員制度を新設

ライフスタイルに合わせて働き方が選べるよう、「自宅通勤正社員」制度が導入されました。転居を伴う異動がない正社員制度です。2018年10月16日にイズミ本社で入社式が行われ、新規入社33人、パートナー社員からの社員登用27人が出席。意欲あふれるみなさんに辞令が交付されました。



60人が入社式で思いを新たにしました

## ビジネススクールで仕事に直結する学びを

従業員の学ぶ意欲を後押しするため、イズミビジネススクールを開設しています。リーダーシップやマーケティング、コーチングなど、仕事に直結する講座が好評です。ウェブで申し込みや受講歴の確認ができるシステムも開発され、目的に合わせて効率的に学べます。2018年度は30講座を595名が受講しました。



従業員のニーズにあった講座

## 宿泊も可能な社員向け研修センター

2016年10月に増築・改装を行った「イズミグループ研修センター」（広島市南区）は、従業員専用の学びの場です。テレビ会議システムやプロジェクターなどを導入し、各種講座を行っています。参加者同士が交流を深めるコミュニケーションスペースも充実。ゆったりした浴室・宿泊室も整備され、一泊二日の講座も開かれています。



静かな環境の「研修センター」

## 先進の小売店を視察アメリカ研修

2018年7月にロサンゼルスで行われたアメリカ研修に、店次長や主任が参加しました。大手スーパーマーケットを巡り、品ぞろえや陳列を精力的に見学した他、ホールフーズでは店長にインタビューを実施。店舗運営にかける思いをヒアリングしました。各自、帰国後は新たな発想で売場づくりに取り組んでいます。



ホールフーズの店長にヒアリング

## 意欲高めるコンテストや発表の場

食品部門の「生鮮技能コンテスト」や食品レジの「チェッカーコンテスト」などを、従業員の意欲と技術を高めるために開催しています。「ゆめ感動物語」では、パートナー社員が実践事例を報告。努力の成果を全社に発表します。



笑顔で発表する「ゆめ感動物語」参加者



鮮魚、精肉、青果、惣菜の生鮮4部門でコンテスト

## 店頭で採用活動「おしごと説明会」

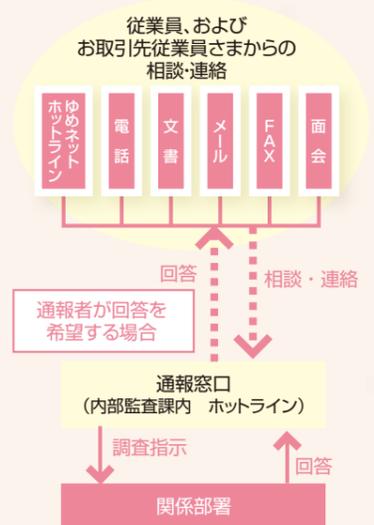
2017年4月から、各店舗で事前予約不要の「おしごと説明会」を開催しています。館内放送やチラシで告知を行い、集まった方に仕事内容や待遇などを説明。希望者にはその場で面談を行い、条件が合えば当日のうちに採用まで決定します。仕事と人材のマッチングが進む採用活動として、他社からも見学に来られています。



「ゆめタウン丸亀」での開催風景

## ホットラインが相談窓口

従業員やお取引先従業員さま向けに、社内に「イズミホットライン」を設置し、相談を受け付けています。



## トヨタ式カイゼンを全店へ

2011年度からトヨタ式カイゼンに着手し、仕事の効率化を進めています。定期的に「カイゼン活動 店長報告会」を開催し、全店へ取り組みを拡大。簡潔にまとめたカイゼンのアイデアを提出する「三行提案」も2015年度から実施中です。



店長や支配人が集まりカイゼン手法を確認

## 清掃ロボットで生産性向上

2018年5月1日から、「ゆめタウン廿日市」で床洗浄機「清掃ロボット」を導入しています。AI（人工知能）を搭載し、ルートを記憶させれば自動運転が可能に。清掃品質の安定と生産性向上に向けて、今後も導入店舗を増やしていきます。



自動運転の「清掃ロボット」

## 28人の新成人が決意表明

2019年1月18日、イズミグループ新成人祝賀会をウイズ ザ スタイル福岡で開催。28人の新成人が集まりました。幹部社員から贈られた激励の言葉に応えて、新成人が力強く決意を表明し、これからの活躍を誓いました。



活躍が期待される新成人のみなさん

## 「定年感謝の会」で貢献たたえる

2018年3月22日に「定年感謝の会」を開催しました。これから定年を迎える人や既に定年された83人が出席。長年の功績をたたえ、感謝の気持ちを込めて感謝状と記念品が贈呈されました。



山西社長から感謝状を贈呈

## 「奨学金返済支援制度」を導入

2019年以降に入社する大学卒・大学院卒の新入社員向けに、奨学金返済支援制度を導入しました。勤続3年目、5年目、7年目に、返済中の残高に対して20万円ずつを支給する制度です。大学卒業後に奨学金の返済に苦慮している人も少なくない中、新入社員が安心して働けるよう配慮していきます。



企業が果たすべき社会的責任の一つとして  
イズミグループでは環境保全に取り組んでいます。  
地域やお客さまとの接点である店舗を中心に  
一つひとつの活動を継続的に実践。  
省資源や環境負荷低減に貢献していきます。

## 店舗の設備・システムで「省エネ」を

### 屋上で太陽光発電を実施

「ゆめタウン廿日市」では、イズミ初の試みとして屋上で太陽光発電を実施。小型のスーパーマーケット1店舗分に相当する電気を発電できるよう、350kW発電パネルを約2,900㎡の規模で設置しています。年間のエネルギー使用量を限りなくゼロに近づけるよう取り組み、二酸化炭素の排出量削減に努めています。



屋上駐車場の一部に太陽光発電パネルを設置



社員向けのイズミ本社のパネル



リサイクル活動を告知する「ゆめタウン廿日市」のパネル

### パネル活用し「見える化」

環境保全への関心を高めていただけるよう、「ゆめタウン廿日市」のエコステーションでは、太陽光発電の発電状況やリサイクル情報をパネルに表示。従業員に向けてイズミ本社でも、リアルタイムで消費電力量などを表示しています。エコ意識の向上に向けて、今後も「見える化（可視化）」を実施していきます。

### 運輸部門でエネルギー削減

商品の運輸部門でも、省エネを進めています。その中心となるのが、2015年に4つの配送センターを統合して開設した「イズミ広島物流センター」（広島市西区）。ドライ商品とチルド商品を同じ車両で出荷し、輸送車台数を大幅に削減しました。プラスチック製の折りたたみコンテナ「通い箱」を繰り返し活用し、段ボール使用量も減らしています。



「イズミ広島物流センター」でドライ商品とチルド商品を仕分け

### 既存店の空調設備を更新

現在、既存店において従来の重油式空調設備から、二酸化炭素排出量を約半分に削減できる電気式空調設備への更新を行っています。今後も、環境負荷の低い電気式空調設備の導入を積極的に進めています。



従来型の重油式空調設備



導入を進めている電気式空調設備

### 冷蔵・冷凍ケースを一元管理

消費電力を抑えつつ、食品のおいしさや品質を守るために、適切な庫内温度を保つ「インバーターエコシステム」を採用しています。全ての冷蔵ショーケース・冷凍ショーケースの庫内温度を監視し、一元管理で常に最適運転を実施。消費エネルギーを削減しています。



最適運転を実施する冷凍ショーケース

### 店舗で電気自動車の充電

電気自動車は、省エネ型の自動車として使用が拡大しています。イズミでは、各地で充電スポットの整備を推進。現在「ゆめタウン光の森」「ゆめタウン博多」「ゆめタウン高松」「ゆめタウン廿日市」「ゆめタウン広島」「LECT」など14店舗に設置しています。



「ゆめタウン廿日市」の充電スポット

### 次世代型の有機EL照明導入

さらなる省エネに向けてイズミの店舗ではLED照明と、時間帯ごとに店内照度を自動制御するスケジュール調光システムを組み合わせています。また、次世代型の有機EL照明を「ゆめタウン廿日市」で試験導入。より一層の消費電力削減へと対策を練っています。

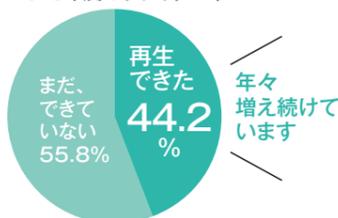


有機EL照明を設置した「ゆめタウン廿日市」の授乳室

### 食品廃棄物が肥料や燃料に

魚のあらや廃油、野菜くずなどの食品廃棄物を分別管理し、2018年度は44.2%（3,445t）をリサイクル。店舗から出た食品廃棄物は、専門業者に委託し肥料に生まれ変わります。廃油も専門業者に委託し多くは飼料になりますが、福岡県の株式会社フチガミ様では、バイオディーゼル燃料に再生されています。

2018年度のリサイクル率



廃油再生委託先の(株)フチガミ様

### 本社屋上を緑化 熱負荷軽減

イズミ本社ビルの屋上には太陽光発電パネルを設置。発電を行うと同時に、緑化で建物の熱負荷軽減を行っています。さらに、ビル中央部の吹き抜けで開放的な空間を演出すると共に、自然換気を行い空調を削減。さまざまな観点から環境負荷低減に取り組んでいます。



屋上緑化で熱い空間も創出

# 地域のみなさまと「循環型社会」を

## 店頭で地域のリサイクル拠点

「ゆめタウン」「ゆめマート」全店の店頭で設置した回収ボックスは、地域のリサイクル拠点としてお客さまに親しまれています。お買物のついでに牛乳パックや食品トレー、ペットボトル、アルミ缶などをご持参いただき、リサイクル量は年々増加しています。



気軽にリサイクルに取り組み始める回収ボックス



随時古紙を受け付ける「エコ・ステ」

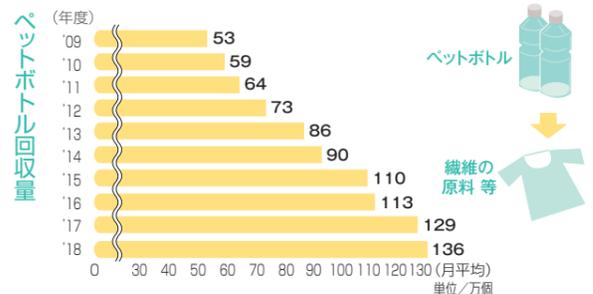
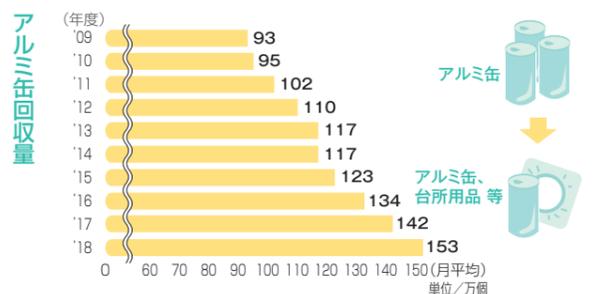
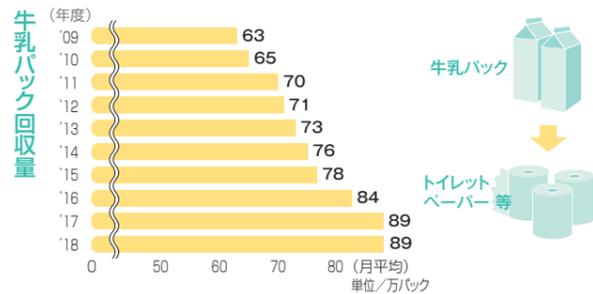
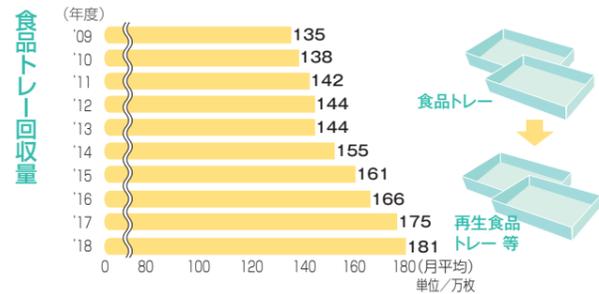
70店舗に設置

## 「エコ・ステ」で資源循環

古紙回収ステーション「エコ・ステ」では、ご持参いただいた新聞や雑誌などの紙類の重量に応じてポイントを差し上げています。2010年に導入を開始して以来「ポイントがお買物に利用できてお得」と人気で、70店舗（2019年5月現在）に設置されています。

※「エコ・ステ」とは、「エコ・ステーション」の略です

## 店頭での容器回収量



## 包装削減による省エネ活動

20年以上にわたって、イズミでは各地の行政や市民団体と協力してレジ袋の削減を呼び掛けてきました。現在ではお買物袋持参率は6割を超えています。ギフト売場でも、のし紙や包装紙などを省略したエコ（簡易）包装へのご協力を呼び掛け。2018年度は夏のギフト74.6%、冬のギフト76.1%に拡大しています。



エコ包装  
夏のギフト  
74.6%  
冬のギフト  
76.1%



ギフト売場のご案内

## 「クールシェア」全店に拡大

59日間実施

地域全体で節電を進めるため、ご家庭のクーラーを消して公共施設などで過ごすのが「クールシェア」運動です。2012年からイズミも広島県の店舗で実施し、2018年には全店に拡大。ご利用を呼び掛けるため、7月27日から9月23日まで割引クーポンを発行しました。



お客さまに配布した割引クーポン

## 衣類の工夫でエコ推進

「クールビズ」は衣類の工夫で冷房の設定温度を上げる取り組みです。初夏から「クールビズ」コーナーを設置し、機能的な衣類をご提案。イズミ社員も夏期は上着、ネクタイなしで業務を行っています。冬には暖房の設定温度を下げられるよう、温かい肌着などを紹介する「ウォームビズ」を実施しています。



毎年好評の「クールビズ」売場

## 衣料品回収でクーポン券

「ゆめタウン」では、不要になった衣料品を最大10点までお引き取りするキャンペーンを毎年数回開催しています。お引き取りしたジャケットやパンツ、バッグなどはリユースやリサイクルなどで有効活用。回収にご協力いただいたお客さまには、500円分のクーポン券を3枚進呈しています。



専用カウンターで受け付け

## 環境美化へ各地で清掃実施

各地の店舗やイズミ本社の周辺で、空き缶やタバコの吸い殻などを拾い、環境美化に取り組んでいます。行政や市民などが主催する清掃デーにも継続的に参加。公園や河川でのゴミ拾いに自主参加した従業員は、環境保全意識を高めながら爽やかな汗を流しました。



店舗周辺の公園を清掃

## 「ゆめタウン廿日市」でイベント

2018年10月14日、「はつかいち環境フェスタ2018」が開催されました。会場は「ゆめタウン廿日市」に隣接した「ゆめ桜公園」や店内の「廿日市市民ホール」。多くの企業や団体がエコ情報の告知に取り組みました。ペンギンや子牛とのふれあいイベントなどもあり、幅広い世代が楽しく環境問題について考えました。



「はつかいち環境フェスタ2018」の様子

# コンプライアンス規定を浸透



▶ 高い倫理観をグループ全体の共通認識としていきます。

## 社会的責任を果たすための基本方針

1) 将来への成長・飛躍をめざして、変化への対応・挑戦・スピードのある経営を推進・実践していきます。そのために、地域の生活文化の中心として、夢づくり・街づくりをテーマに企業活動を行い、店舗展開することを社会的責任を果たすための使命とし、地域のよさを最大限に生かしながら、地域一番店をめざします。

2) 企業活動では、コンプライアンス経営を基盤とし、お客さま・地域社会・株主のみなさま・お取引先様との信頼関係の構築に努めます。  
3) 役員および社員は、地域への貢献を誇りとし、人間的成長につながるやりがいを生み出し、お客さまに喜んでいただけることを生きがいとして、地域のみなさまの声を店舗に反映していきます。

### 1 法令を遵守して業務を遂行

イズミグループでは、法令を遵守しながら日々の業務を行うよう、「行動憲章」を制定。コンプライアンス・リスク管理委員会を中心に、全社員で学習を進めています。

#### 【イズミグループ行動憲章】

- 1 社会にとって有益かつ安全な商品とサービスを提供し、お客さまの信頼と満足を確認します。
- 2 自由競争のもと、公正な取引に努めます。
- 3 顧客情報・内部情報が適切に管理される体制を構築します。
- 4 株主はもとより社会に対して、企業情報を積極的かつ公正に開示します。
- 5 自然(地球)環境に配慮した行動に努めます。
- 6 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、断固として対決します。
- 7 国際的な事業活動においては、国際ルールや現地の法律を遵守し、文化や習慣を尊重して、その地域の発展に貢献します。
- 8 創業の精神に則り、お互いを尊重し、謙譲の気持ちをもって行動します。
- 9 国内外の法律を遵守し、社内規則ならびに社内規範・企業倫理等のルールに従い、「人としてやってはいけないこと」を判断できる誠実な企業人をめざします。
- 10 経営トップは本憲章の精神を実現するため、社内外の声を傾け、遵法文化形成のために社内体制の整備を行います。

### 2 個人情報保護を徹底

店舗などでお預かりしたお客さまの大切な個人情報を守るため、イズミグループの社員ならびにお取引先様と、共通の指針に沿って取り組んでいます。

#### 【イズミのプライバシーポリシー】

- 1 弊社がお客さまからいただいた個人情報は、ダイレクトメールなどの宣伝物の送付、商品・催事情報のご案内、アフターサービスなどに利用させていただきます。
- 2 弊社は、個人情報の取り扱いに当たっては、漏えいなどがないように安全な管理に努めます。
- 3 弊社は、お客さまの個人情報を第三者に提供する場合は、お客さまから同意を得ます。ただし、法令などに基づく場合などの正当な理由がある場合は除きます。
- 4 弊社は、個人情報の取り扱いに関する業務を委託する場合は、委託先が個人情報の保護と安全管理を行うように監督に努めます。
- 5 弊社は、個人情報の取り扱いについては必要に応じて随時改善、変更を行うことがあります。
- 6 弊社は、お客さまから個人情報の開示、訂正等を求められたときは、合理的な範囲ですみやかに対応いたします。

### 3 エコ活動実践の指針

イズミでは、グループ社員全員で環境への取り組みを共有するため、環境理念・環境方針を定め、共に学び、共に業務の中で行動に移しています。

#### 【環境理念】

イズミは、環境問題への取り組みが社会的責任を果たす最も基本的な活動と考え、地球市民として使命感に基づき、社員一人ひとりが自発的に行動し、環境保全活動の実践に努めます。さらに地域のみなさまと協力し、環境負荷の軽減と循環型社会の構築をめざしていきます。

#### 【環境方針】

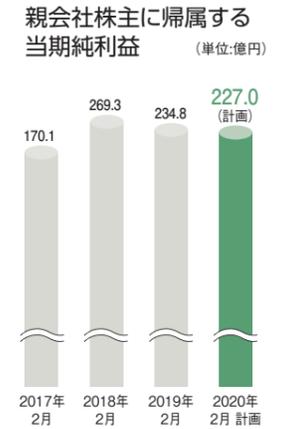
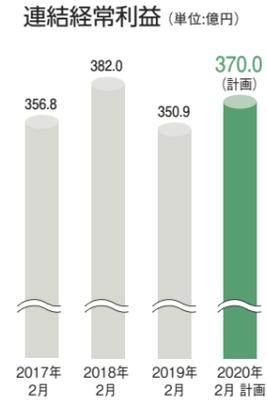
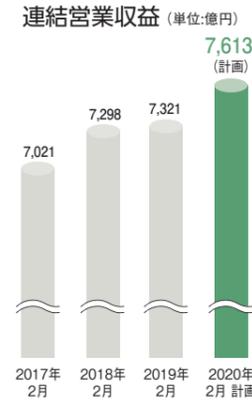
イズミは、企業理念である「お客さまの満足度No.1」を基本に、商品やサービスおよび店舗づくりを通じて環境保全への取り組みと、地域周辺の自然・環境との調和に努めます。また、環境保全活動を通じて、お客さまから信頼される企業をめざします。

- 1 環境に配慮した安全安心な商品・サービスの提供に取り組みます。
- 2 環境に配慮した店づくりをめざし、省資源・省エネルギーに取り組み、廃棄物排出の抑制、リサイクル活動に努めます。
- 3 再生素材を推進し、環境への負荷が少ないものの購入および使用を行い、資源の有効活用を努めます。
- 4 地域のみなさま・行政と協力し、環境保全活動を推進し、社会貢献に努めます。
- 5 社員一人ひとりが環境に配慮した取り組みの実践および継続的な改善に努め、環境に関連した法規制を遵守します。

# 株主・投資家との対話を強化

▶ IRコミュニケーションを進め、利益配分に努めます。

## イズミグループ業績概要



## ◆株主優待制度による利益還元

イズミでは、利益成長に応じた配当金に加え、株主優待券やギフト券の贈呈を行っています。また長期保有特典制度も新たに導入しました。

ご所有株式数	一回当たりの贈呈額	
	株主優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

## ■長期保有特典制度

ご所有株式数	自社商品券の場合	ギフト券の場合
300株以上	2,000円	500円
1,000株以上	4,000円	1,000円

## ■泉美術館ご招待券の贈呈

上記とは別に、泉美術館ご招待券を贈呈しています。

※「株主優待券」は、1,000円以上お買い上げにつき、1,000円ごとに各1枚(100円券)をご使用いただけます。「株主優待券」「自社商品券」の対象店舗はイズミ全店、ゆめマート熊本、ゆめマート北九州、ユアーズ、その他。  
※「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。  
※長期保有特典制度では、現行制度で株主優待券をお選びの方には自社商品券、ギフト券をお選びの方にはギフト券を贈呈します。

## ◆IRコミュニケーションを推進

イズミではIR専任部署を置き、定期的に経営戦略や業績に関して株主・投資家のみなさまとの対話を実施しています。年2回アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を実施している他、個人投資家向けには会社説明会を開催すると共に、証券会社が開催する個人投資家セミナーへ参加しています。また、海外投資家向けに証券会社の主催するコンファレンスに参加している他、英語による情報開示についても積極的に取り組んでいます。

## ■ホームページへの掲載情報

月次売上、決算資料、業績推移、株式情報、株主総会、IRカレンダー、決算公告、IRinformation(English)、ニュースリリース、株価情報

## ■IR情報に関するURL

<https://www.izumi.co.jp/>



ホームページでIR情報を発信



日本語と英語で  
年次報告書を毎年発行

## コーポレートガバナンス体制を強化

▶ 透明性の高い組織で、企業価値向上を実現します。



### 1) 基本的な考え方

お客さま満足の実現を通じて企業価値の最大化を図ること、株主やお取引先様、社員などのステークホルダーのみならず、ご期待にお応えしたいと考えております。同時に、高い倫理観をもって社会的責任を果たしつつ、地域社会へ貢献します。

このような理念のもと、経営組織や諸制度を整備し透明性・公正性を高めることを重要な課題の一つと位置づけております。そして、取締役会の監督機能の強化、財務の信頼性の確保、業務の有効性と効率性の向上に取り組んでいます。

### 2) 業務執行、監査等の状況

当社は監査役会設置会社であり、取締役8名（うち社外取締役2名）ならびに監査役3名（うち社外監査役2名）で構成し、取締役会は原則として月1回開催し、充実した審議と取締役の職務執行に関する監督が行われています。取締役会においては、監査役に対して取締役会議案に対する客観的な意見を求めると共に、監査役が取締役の意思決定および業務執行状況の監査をしています。

また、取締役8名の中から代表取締役1名を選定し、代表取締

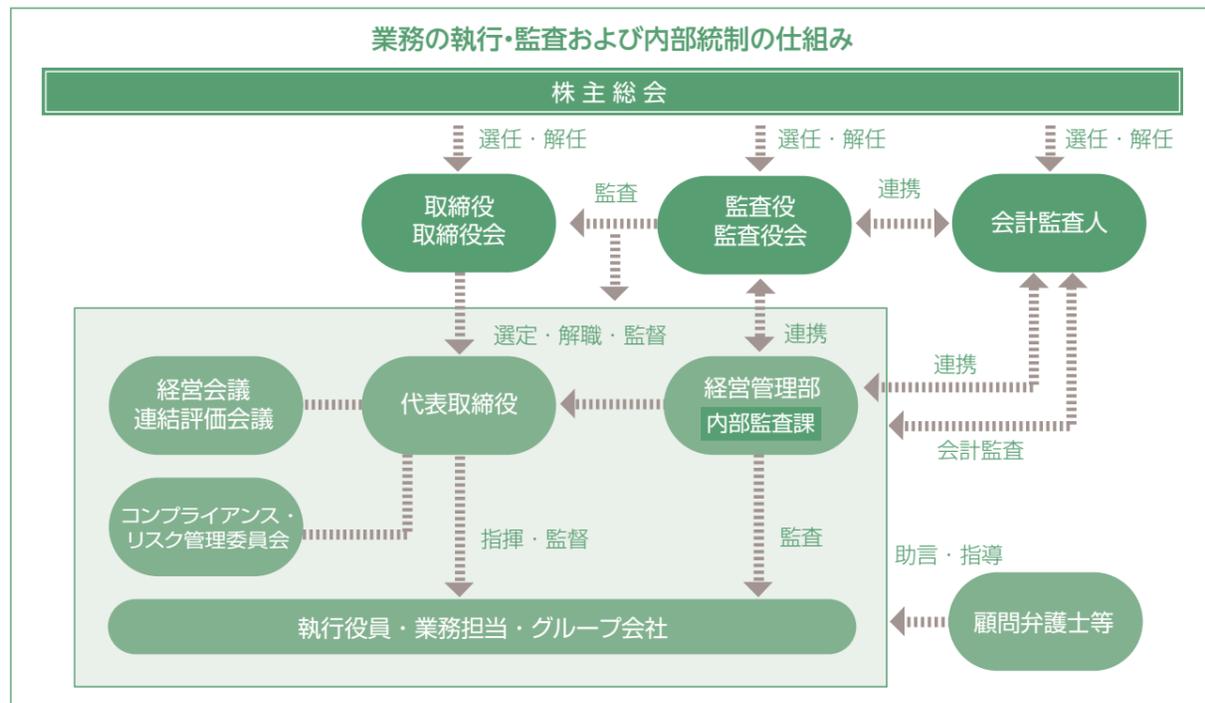
役の下に執行役員6名を選任して業務執行にあたらせており、各取締役および執行役員における経営方針等に関する施策に対する報告・意見交換は毎週1回の経営会議において実施しています。当社グループ会社の経営状況につきましては、月1回の連結評価会議および実績検討会において、各グループ会社の社長を招集して各社の経営チェックを行う体制をとっています。

さらに、適正かつ効率的に経営監視機能を行うために、4名の顧問弁護士による経営に関する助言・指導をいただいています。

### 3) 内部統制システム・リスク管理体制の整備状況

内部統制システム・リスク管理体制の整備状況につきましては、次のとおりです。

■各事業本部とは独立した経営管理部が主管となってコンプライアンス・リスク管理委員会を毎月1回開催し、当社各部門ならびにグループ会社から選出されたコンプライアンス・リスク管理委員出席の下、当社グループ全体のコンプライアンス教育およびリスク管理のモニタリング活動報告について審議しています。当委員会の議事内容については、取締役および監査役に報告しています。



■イズミグループ行動憲章を定め、当社およびグループ会社の取締役・従業員の行動規範として、事業活動における法令遵守に努めています。また、法令遵守の徹底・意識向上のため「イズミホットライン」(内部通報制度)を設置し、当社およびグループ会社からのさまざまなリスク発生の未然防止に努めています。

■事業活動において生じたさまざまなリスクへの対応については、お客さまの安全確保、被害の最小化を主たる目的として、全社連絡体制を整備して対応しており、地震等の災害時においては直ちに緊急対策本部(本部長は代表取締役社長)が設置される仕組みとなっています。

## コンプライアンス意識を啓発・向上

▶ リスク管理と教育の両輪で企業統治を確実にします。



イズミでは、従来から内部統制に関する取り組みを進めてきました。2018年3月に始動した中期経営計画は2019年4月に見直しを行いました。「日本一の高質リージョナル総合スーパーをめざす」という方針に変更はありません。企業としての質を向上させ、信頼を高めるために、以下のような取り組みで内部統制の浸透を図っています。

第一に、会社内で起こりうるリスクについて主管部署が洗い出し、その対応策を検討し、現場で実施しています。また毎月1回開催される全社的なコンプライアンス・リスク管理委員会に各部署の委員が出席し、コンプライアンスに関する教育や情報の共有化を実施したり、さまざまなリスクへの対応策を検討・協議しています。

また、同様にグループ会社を対象としたイズミグループコンプライアンス・リスク管理委員会を設置し、イズミグループ全体の

内部統制を強化しています。

第二に、内部統制の根幹であるコンプライアンスの徹底のために、その重要性を経営者自らが全社的な会議の場でメッセージを発信し続けています。また、従業員に対するコンプライアンス教育を、社内の重要な研修カリキュラムの中に組み入れています。

さらに、従業員全体のコンプライアンスに対する意識を高めることを目的として、毎月その時々タイムリーなテーマのもとに、業務上必要な法律知識の解説を分かりやすくまとめた社内教育資料を、コンプライアンス教育担当部署が毎月作成して店舗や本社の各部署へ発信しています。

イズミがお客さまや地域に信頼される企業であり続けるために、今後も全社員で取り組みを行い、コンプライアンス経営を推進してまいります。

コンプライアンスについて勉強会を開催

